



手塚 治虫

治虫の生き方を読み、自分と結び付けて、心にひびいたことをまとめよう

みんなのためにかいた人

命がつきようとするしゅん間
待つ人たちのために

まんがへの情熱が強い人

けん命に 打ち込み

心が強い人

叙

どうしたら、いじめられない
よくなるのか
自分に見つけ
歯をくいしばってがまん

強いとは？

逃げない 乗り越える
前向き 勇気

心にひびいたことは？

- ・ 逃げずに乗り越える勇氣
- ・ だれかのために
- ・ はげます
- ・ 好きな道を

1 指導内容（新学習指導要領解説編から）

小学校国語科編より

伝記を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめたことを共有し、自分の考えを広げること。

2 本時のねらい

治虫の生き方を表す叙述に着目し、その意味を問い直すことを通して、生き方を捉え、治虫の生き方と自分を結び付けて自分の考えをまとめる。

3 「深い学び」の礎となる「見方・考え方」を動かせるための発問の意図

引 【「見方・考え方」を引き出す発問】

前時までの読みを生かして、治虫の生き方を多面的に捉え、見通しを持って後半の学習に取り組むようにする。

鍛 【「見方・考え方」を鍛える発問】

手塚治虫の生き方から学んだことを自分の生き方に生かし、自分に何が必要なのかを検討して、自分の考えを再構築できるようにする。


4 「主体的な学び」・「対話的な学び」の重点

【主体的な学び】

前半は、「叙述を根拠に治虫の生き方を〇〇〇の人と表す学習」を行い、前時までの既習の読みを生かして考えることができるようにする。後半は、「治虫の生き方と自分を結び付けて、考えをまとめる学習」を行い、治虫に関心を持って考えることができるようにする。

5 学習過程

段階	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 口評価の観点【評価方法】
導入 5分	1 本時のめあてを知る T 手塚治虫の生き方をどう思いますか。 C1 自分とは違う気がします。 C2 自分は最後までまんがを描くのはまねできません。	・ 本時は、まず、治虫の生き方について、読み取っていくことに気付かせる。
	T 治虫の生き方について詳しく考えましょう。 〈めあて〉 治虫の生き方を読み、自分と結び付けて、心に響いたことをまとめよう	・ 前日に、自分の考えの根拠となる叙述に付箋を貼ってくるよう指示しておく。
	2 根拠となる叙述を基に治虫の生き方をまとめる T 治虫の生き方を、「〇〇〇の人」と表すならばどのような言葉がふさわしいでしょう。（叙述を根拠に、理由も書きましょう。） [引②④]	・ 後半の学習で治虫の生き方を多面的に捉えられるように、一言で表す言葉を考えさせる。 ・ 叙述を根拠に、理由も示しながら「〇〇〇の人」を考えることを指示する。 ・ モデルを示し、まとめ方を確認する。

<p>展開 30分</p>	<p>3 ペアで交流した後、全体で共有する</p> <p>C 3 「命がつきようとするしゅん間まで、新しい作品を待つ人たちのために」を読んで、読む人を大切にしたので、「みんなのためにかいた人」と書きました。</p> <p>C 4 同じ叙述から、最後までまんがに力を注いだと考えて、「まんがへの情熱が強い人」と書きました。</p> <p>C 5 C4さんに付け足して、「打ち込み」「けん命に」の叙述も選びました。</p> <p>C 6 「歯を食いしばってがまん」を読んで、治虫は逃げない人だと思い、「心が強い人」と書きました。</p> <p>C 7 「いじめっ子にはできなくて、自分にはできることを見付け、やってみせればいい」を読んで、自分で乗り越える心があると思いました。だから、治虫は「強い心がある人」だと思っています。</p> <p>C 8 C7さんと叙述と理由はほとんど同じですが、「前向きな人」と書きました。</p> <p>T 黒板を見て、何か気付いたことはありますか。</p> <p>C 8 同じような言葉で治虫を表しても、根拠や理由が違っていたと思います。</p> <p>C 9 いろいろな考え方があるということが分かりました。</p> <p>4 治虫の生き方と自分を結び付け、考えをまとめる</p> <p>T  自分の心に一番響いたことは何でしょう。(自分の生活と結び付けて、ノートに3～5行で書きましょう。) [鍛③]</p> <p>C11 治虫は、戦争中もまんがを描いて仲間を励ましていました。生涯、まんがを待つ人たちのために懸命に描き続けました。私も、誰かのためになりたいです。</p> <p>C12 治虫は、ねむる時間を削って自分の好きなことに打ち込みました。ぼくも今頑張っている野球をとことん練習して、いい選手になりたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自考えをまとめ、ノートに書く。 机間指導をして、書き出せない児童が何に困っているのかを聞く。「〇〇〇」に当てはまる言葉が思い付かない場合は、付箋を貼った叙述を使うことができないか等、助言する。また、書き進めている児童の発表を通して「どのように書けばよいか」に気付かせる。 自分以外の考えに直接触れることができるように、相手の「〇〇〇の人」と、簡潔に理由をメモしながら、ペアで交流する。 お互いの付箋を手掛かりに、教科書の根拠となる叙述を確認し合う。 自分の思いや考えをより適切に表現できるようにするために、同じ言葉を取り上げ、「強い心の『強い』は同じ意味か」等と問い掛け、言葉を吟味させる。 視覚的に捉えやすくするよう、叙述の違いや類義語を近くに板書する等して発問し、同じ言葉や似ている言葉で思いや考えを表現しても、その根拠や理由が違うことに気付かせる。 読み取った治虫の生き方を基に、自分と結び付けながら、自分の考えをまとめられるようにする。 グループで交流し、感想を述べ合い、個人の考えを広げた後、全体で共有して、様々な感じ方があることに気付かせる。 <p>読む能力 治虫の生き方を表す叙述に着目し、治虫の生き方を捉え、それを基に、自分と結び付けて考えをまとめている。</p> <p>【発表・ノート】</p>
<p>終末 10分</p>	<p>5 本時の学習を振り返る</p> <p>T 治虫の生き方を読み、自分の考えをまとめることができましたか。振り返って感想を書きましょう。</p> <p>C13 ペアで話したら、治虫はまんがを描くことが好きだけでなく、読む人のために描いていたという優しさに気づき、まとめることができました。</p> <p>C14 「強さ」には様々な意味が含まれていることに、皆と勉強して気付きました。「心に響いたこと」は、強さについて詳しく書くことができました。</p> <p>C15 友達の考えをもう少し多くメモすれば、考えが広がったと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まとめることができたのはどうしてか、まとめられなかった場合はどうすればできたかについて記述させる。